

三笠ニューズ

発行所
東京都千代田区猿樂町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京 (292) 1411 大代表
テレックス 222-4607
郵便番号 101
PR句報 年4回発行

コンパクトは 前後進式の時代

軽量型のさきがけ

MVC-R85型発売



本年初夏に行われた東部および西部の三笠代理店会に於いて発表された重量僅か85kg、前後進型バイプロコンバクターシリーズの最軽量機種として大きな反響を呼び、発売が待たれていたMVC-R85型が当初の予定通り九月中旬より市場にお目見えした。改めてMVC-R85型バイプロコンバクターの概要とR85の作業状況をスケッチしてみた。

前後進するバイプロコンバクターはMVC-3000シリーズのヘビー級超強力型に続き、最もバラエティに富んだ2000シリーズがデビュー以来、前後進型バイプロコンバクターの軽量化が進められ、昨年の1000シリーズに次いで今年発表されたMVC-R85型は前後進型コンバクターとしては初めて100kgの壁を破り85kgという軽量化に成功したのであるが、これには勿論のこと多年に亘り締固め機械に専念し、ことにコンバクターの前後進機構に独特のノウハウを有する三笠技術研究所のエンジニア達の所産であることはここに改めて申すまでもないことである。今や古い言葉となった日進月歩どころか予想をはるかに超えた技術革新の時代、三笠技術陣はむしろかといわれ、前後進型コンバクターの軽量化をなしたとげである。

MVC-R85型の起振装置は二軸偏心式振子を用い、振子が同調する位相を変化させて進行する方向を切換えている。これは三笠のすべての前後進型コンバクターに共通する前後進のメカニズムであるが、R85型の場合これを更に洗練されたシンブルな形状にするべく見直された。

MVC-R85型は上下方向に力を集中する二軸偏心式起振方式を採用しているため基礎転圧は勿論のこと、アスファルトの仕

MVC-R85型仕様	
機体の寸法(mm)	長 845
	高 885
転圧盤の寸法(mm)	長 520
	幅 330
振動数(V.P.M)	3700~3900
速度(m/min)	17~20
登坂能力	20°
力	1400kg
遠心エンジン	ロビンEY15D
使用エンジン	3.5PS/4000r.p.m
重量	85kg



(路床転圧中のR85型)

事故の絶滅を期して 管路工事の安全対策活発化

電話ケーブルの埋設作業時の労働災害を防ぐためいろいろの考案がなされているが、これらの機器を一堂に集めた展示実演の会が去る七月三日(四日)の両日、東京の渋谷で日本電信電話

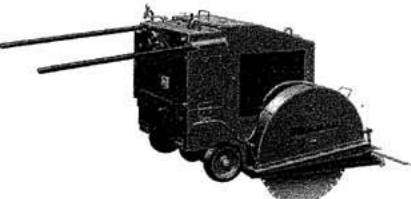


この日は大和電設工業(株)土木部の管野課長さんの提案に基づきMVC-135型コンバクターのフレームに脚立のような形をしたハンドルをボルトで取付け、溝内への機械の上り降ろしと作業をやり易くとの目的で試作したもの、MT-M50型電動ランマーにロングハンドルを取付けたものと二台を搬入した。現場になぞられて設けられた溝内にこの二台を入れて早速テストを兼ねてデモンストレーション。新しい締固め機械が出品された参観者の注目するところとなった。溝内転圧用の作業機は遠隔操作装置を含めいろいろアイディアを盛り込んだものを見るこ

ルからそれぞれの進む方向にだけ水が出る機構となっている。転圧盤の底面はアスファルト仕上げがきれいにできるような形状になっている。幅は機体全幅と同じ330mm、狭いコーナーや溝のなかの作業では前後進しながらこま回りが効き、仕事やり易いのは言うまでもない。初秋の信濃路でMVC-R85型コンバクターの作業現場を訪ねた。道路舗装の工事ではローリーで進行する締固め作業の補助機としてローリーのやり残しの隅の部分に使われていた。ローリーと同じようにレバー操

昭和五十九年度
建設機械展示会の開催
主催 日本建設機械化協会
十月十七日(水)~二十一日(日)
大阪市住之江区南港南二丁目
フェリターミナル前広場
三笠製品を展示実演します。

MCD15SP型
コンクリートカッター
低騒音型建設機械に指定さる



建設省は九月六日付で13機種を指定し、三笠のMCD15SP型コンクリートカッターも低騒音機として指定されました。指定された機械は機体外側面の見やすい位置に(社)日本建設機械化協会が交付したラベルを貼付け、指定を受けた低騒音機械であることを明示することになっています。尚、三笠産業では引き続きMCD133型、4DX型ならびに4ST型の低騒音型建設機械の指定申請を行う予定です。



(R85型で駐車場の舗装工事)

公社と電信電話工事協会の共催で行なわれた。北海道から九州までの各支部のテナントのなかにもそれぞれ工夫をこらした各種の作業機が展示されているが、このなかには自在に前後進する三笠のMVC-135型バイプロコンバクターを溝の外から操作して電設管の埋戻し転圧作業ができるように改造されたハンドルを長く伸ばした特殊なものをはじめ、同じ目的の作業に使うため、槽のようなハンドルをMT-R80H型ランマーの上に取付けた地上操作のできる締固め機械が目についた。モーター部分から操作用に改良したバイプロタン



(溝のなかのMT-M50、後方はMVC-135)

目白・椿山荘にて
設立総会行なわる

三笠レタル会は第一部の新製品発表会により幕が開かれた。椿山荘のロビーでお待ちになっていた約四十社の方々は、定刻午後一時三〇分に係の案内で駐車場内に設けられた「三笠新製品発表会場」に続々とつめかけられ、京谷社長以下三笠幹部の出迎えを受ける。折あしくポツリポツリと降ってきた。お客様は用意された天幕に雨を避け、本年度新製品の説明に耳を傾ける。荻本営業部長が司会をつとめ松下・磯部両技術部長が説明役となり一台で三通りに使える「三役」MFWG—333型高周波エンジンゼネレーター、前後進自在で軽量なMVC—R85型ハイプロコンバクター、オイルバス式ハイジャンプのMT—65型ランマー、ワンタッチ昇降で防音装置が取付けられるMCD—33型コンクリートカッターの順で実演操作を加えての説明に次いで、電設工事などの安全対策として開発したランマーな対応として開発したランマーらびにコンバクター用のロングハンドルとバイプロタンバーの紹介をして製品説明を終了。熱心に聞きいつていた皆さんは天幕を出て製品に触れながら、更に詳しくお尋ねになり、少々の雨などはものともしない熱の入った新製品説明会であった。



相の間に利一、タ行二、三、金
二部の三笠レンタル会設立総会
が東販二課佐濁課長の司会で開
幕。挨拶に立った京谷社長は、「
予てから建設機械のリースレン
タル関係のお仕事をなさってお
られる皆様方とのご交流を深め
相互の利益と発展に役立つ場を
持ちたいと考えておりました。
本日ここに皆様方との間に開け
ました新たなルートを三笠の伝
統を恥かしめぬよう全力を傾注

三等産業側の役員および社員各担当の紹介に続いてご列席各社の方々のご紹介が終り、次いで会則案が逐条審議され全員一致で可決。そこで早速に会則に基き役員の方々が選出された。 일단会議は休憩に入り、その間に別室に於いて役員の方々の互選に依り会長、副会長はじめ理事、監事、特別顧問の方々が次のように決まった。

(片岡建機リース(株) 社長)

理事 森田藤伸
(宇建機工(株)社長)

理事 風間英夫
(常盤工業(株)部長)

監事 小西正教
(檜崎産業(株)部長)

特別顧問 京谷達也
(三笠産業(株)社長)

初代会長に就任された花岡会
(敬称略)

長は「リース・レンタル業をとり巻く環境はまことに厳しい状況

況にあり、監督官庁のご指導のもと体質改善を行なおうと言うと

きに三笠レンタル会が発足したこととはまことに時宜を得たこと

と思います。三笠の代理店会と
ンタル会、そして三笠産業の

三者が相寄り会いまして、素晴

展させて頂き度い」と挨拶され

盛んな拍手をおひた
引続いて直ちに第一期事業計画
案の審議に入り、事務局より、

案の審議に入り、事務局より、
各議案の提案趣旨を説明、全員
の賛同を得、第一号草案を、

の賛同を得、第一其予算案について、
ても同じくご諒承の拍手を得た。

このあと技術情報との交換の場が
持たれ、花岡会長からは技術的

要望事項については文字通り速
かな解決を計るように発言があ

つた。各地よりの祝電も披露され、三笠レンタル会設立総会は

すべて滞りなく終了。全員打ち
そろって記念撮影の後、午後五

時三〇分より再び席を六階吉野の間に移して祝賀パーティが賑

やかに繰りひろげられた。

業が今日ありますのも、永年にわたります全国の代理店の皆様

三笠レンタル会設立総会

(挨拶する京谷社長)



の強力な販売力とその組織のお陰でありまして、この事實はまた三笠産業の歴史と申せましよう。然しながら、いずれの時代でも状況は時とともに変わってまいります。時流におくれを取る三笠はどうするかと三笠を思つて下さるご厚意あるお言葉もしばしば頂きました。

三笠産業としましては予てから建設機械のリース・レンタル関係のお仕事をなさっておられる皆様方とのご交流を深め、相互の利益と発展に役立つ場を持ちたいと考えておりました。

本日ここに皆様方との間に開けました新たなルートを三笠の伝統を恥づかしめぬよう全力を傾注して続けて参りたいと今を願致しております。遅ればせな

から私共が一度び意を決して事を進めますからには必ずや皆様のご期待にお応え致す覚悟でございます。皆様方におかれましては何か忌憚のないご意見をお寄せ頂けますれば幸でございます。尚この会がこのような立場に発足した暁はこの輪を北海道から九州にまで拡げて大きな三笠レンタル会の組織に発展させてゆきたいものと心に念じておるものでございます。

私共建設関連の企業に携わっている者にとりましては、こののところあまり明るいニュースを耳にいたしておりませんが、今日ここにお集りになっている皆様方と私共が力をあわせて明るいニュースを作り出してまいりたいと願っております。

花岡会長挨拶要旨
本日ご臨席の皆様は立派な会社
のオーナーの方ばかりで、私
会長と言う要職を受けまして今
更ながら事の重大さに足が浮い
ているような次第であります。
私は三笠産業に対して四十五年
前より各社でレンタル関係のこ
とを取上げているが、三笠とし
てもそろそろどうか、どのよう
に考えているのかと申し上げて
いた記憶があるのですが、それ
が本日私になることで会長と言
うなことになるとは夢にも思
いませんでした。

先日私のところから直線距離に
しまして四十五、六軒くらいのも
木曽の王滝村の方で大きな地震
があり大変な衝撃を感じました
が、その地震直後の気持と現在

私がこうしてご挨拶している心境と全く同じで、まことに情緒



三笠レンタル会設立新

(花岡会長の就任挨拶)

不安定な気持であります。
我タリース・レンタル業をとり巻く環境は正念場と申しましようか淘汰されてきている将に厳しい目下の状況でございます。昨年度或いはまた今年の初めから全県連の關係で近代化促進法に基きまして特定業種に指定され、我々の業界も監督官庁の指導のもと體質の改善を要求され、一歩も二歩も前進したと言ふ丁度この時、三笠レンタル会が発足したことはまことに時宜を得たことではなからうかと申います。代理店会の皆さん或いは本日お集りのレンタル会そして三笠産業とこの三者が相寄りより良い素晴らしい三笠レンタル会として発展させて頂き度いと、このように思っております。

(技術研究所にて)

明けて十九日(木)は会員有志による三笠産業技術研究所及び館林工場の見学会が行なわれた。朝九時、宿舍の新宿ワシントンホテルを貸切りバスで出発した一行はくもり空の東京をあとに一路三笠技術研究所へ向つた。車中ではレンタル会も二日めというこで、昨晩以来会員同志の連帯感のようなものも生まれつつありくつろいで始終なごやかな霧間気が感じられた。

午前十時四十分、ほぼ予定通り埼玉県白岡町の技術研究所に到着、早速会議室に於いて技術部に対する要望事項等、質疑応答が行なわれた。今回の参加者は皆さん永年にわたり三笠製品を

を取り扱い、今後益々三笠と共に商売を發展させてゆくという方々だけに、まことに真剣な御意見やご要望もあり、お答えする研究所員にとつても力のこもった場面ともなり、いろいろと参考になったと思う。

質疑応答の後には研究所内の見学に移り、事務棟から試作工場まで限なく見ていただいた。試運転場では、本年度の新製品であるインパクトローラの試運転を見て頂き、また直接触れての有益な御意見を賜わった。

技術研究所を出発、途中で館林名物のうどんの昼食を取り、三笠館林工場の小林工場長の

一モア溢れる案内で分福茶釜で有名な館林市の茂林寺境内を散策し、しばらく休憩した後、最終目的地三笠館林工場を訪れ、会議室に於いて小林工場長から工場の概要等について説明を受けた後、生産の流れにそつて機械加工から組立、検査等の各部門を見学された。特に数百台の完成間近のランマーが整然と並んで組立てられている様子に感心される方が多かった。

一通り工場内を見学された後は、ふたたび会議室に戻り、ここでもまた質疑応答を行なつたしめくりに三笠レンタル会初代会長に就任されたフジヤ機工(株)の花岡社長より本日の見学会

COMPEX'84視察と 西マレーシア・シンガポールの旅

京谷社長 両国代理店を訪問

弊社の決算も一段落ついた六月二十六日早朝、京谷社長と私を乗せたS.Q.7便は、台北経由シンガポールに向けて定期通り成田空港を離陸した。

約三時間のフライトで台北の桃園国際空港に到着した私達は、空港内の免税店を見てまわった。約一時間待った後、再びシンガポールに向けて飛び立った。機内での飲料、昼食等のサービスを受けて心地よい旅の始まりを満喫している間もなく、台北からの約四時間のフライトは、あっという間に過ぎ去り、シンガポールのチャンギ国際空港に降り立ったのは、夕方五時を少し過ぎた頃であった。ムッとする外気は機内で冷えた私達の身体にはむしろ快感であった。関係輸出商社、Y社の山根氏と先に出張していた輸出二課加瀬主任の出迎えを受け、宿泊先であるシャングリラホテルへと向った。京谷社長にとっては、約十年振りの当地への訪問であり、当時と比較して近代的な高層ビルディングが林立し、その中であつたお木々の緑が失なわれる事なく調和している様子は、しばし心の安らぎを感じておられるようであった。

翌日、私は東南アジアで最大規模と言われる建設機械展（COMPEX'84）を視察した。この建機展には、小型建機では日本のメーカーの参加は弊社のみで、他の競合メーカーは出展してなかった。その他では、スウェーデンのD社が新しい新機種の多機種に亘って展示していたものの、その他の出展メーカーの少ないのは何か物足りなさを感ずる展示会であった。

展示会場を視察後、私はその日の夕方、便で、クアラルンプールへ向った。クアラルンプールの空港では、代理店M社のフー社長と輸出商社S社の鷲尾部長の出迎えを受け、約四十分で市内のホテルに到着した。

人口約一〇〇万そこそここのKL市内では、ここ数年に亘ってハウジング、高速道路、火力発電所等の大型プロジェクトが進められている。今回私達は、これら各種工事の現場を訪問し、日本のユーザーの方々の現場を訪問し、且つ日頃、御使用いただいている三笠製品の状況聴取と、挨拶を兼ねて行った。政府入札の形で進められてきたこれらの工事では、日本業者の圧倒的な進出は、やむを得ず現地業者との摩擦や政府からの圧力を招き、工事完了の遅れに悩まされている。多岐に亘る現場を訪問しながら、種々の現場を訪問しながら目につく総てのものが時代の変遷と共に移り変わってゆく中で、依然として変わらないたたず



(シンガポールの展示会場入口で、左よりT社セールスマン、京谷社長、筆者)

まいを見ているモスク（回教寺院）が印象的であった。KLでの三日間の滞在を終え、再びシンガポールに戻った私達は、初めての日曜日を充分に楽しむ事が出来た。古くから貿易の自由港として栄え、フランスやイタリアなどヨーロッパのブランド商品を初め、日本、アメリカ、オーストラリアなど各国の商品が自由に売られている。この国はまさに買物天国である。オチャロードを中心として林立するホテル内は勿論の事、幾つもの専門ブティックを覗いてみるだけでも目を魅了させてくれる。幾つかのめばしい商品に目をつけて置いて買物は最終日にすることとし、歩き疲れた私達は、いったんホテルへ戻り、夕食に出掛けた。数時間前までホテル内のレストランで楽しんだ夕方、私は地図で調べておいたニュートーンサーカス（野外レストラン）へ行こうという事になった。何十軒もの小さな店が野外にテイルを出し、いろいろな国の人数軒の店を見て廻ってからは、ある海鮮料理店のテーブルに落ち着いた。きれいなお世辞にも言えないテーブルや椅子の時々は傾くテーブルもここでは苦にならない。早速、カニエビ、ホテルイカ、アワビ、焼ソバ等々食べきれない程注文してしまつた。同じテーブルで食事をしていた若い英国人夫婦は、次々と私達の前に運ばれてくる料理を見て驚いている様子であったが、どうぞと勧めると気軽に話しかけてくる。楽しい一時を過ごすことが出来た。

翌日から二日間の予定で、私は輸出商社Y社と代理店T社で挨拶を済ませ、両社の担当者として日本のユーザーの方々の訪問する事となった。ここシンガポールの工事が見られ、既に何

末筆から私達の滞在中お世話になった両国代理店の方々と関係商社の方々の御協力に對し厚く御礼申し上げます。

輸出二課 徳永

三笠の展示小間にてT社チャン社長と共に

(西マレーシアハウジング現場にて右代理店M社フー社長、左輸出商社S社鷲尾部長)

ムハマト・ヤコブ爺さんに遇ったのはオリブ山の山上であつた。暑い陽差しの下で「昇天教会」を写生した下で「その旅のお方よ」としわがれた声がする。みると門前の日陰にラクダを連れたアラブ老人がしゃがんでた。涼しげな水色の長い衣服をまとい、頭からは例のヤシガシと呼ばれる布をかぶり、大股に近づいて来た。陽焼けした深い顔、そして白髪まじりのヒゲはなかなかの貫禄であつた。ふ厚い眼鏡の奥には恰幅のよい長身の体軀に似合ふ優しい目が笑つていた。「わしをあのラクダと共に置いて、ぜひ一枚進呈してもらえまいか」と言うのである。私の肩に手をかけた、と思つたら突然親愛の類ずりをした来た。それは問答無

な、男六人の女二人よ」と身の上話を始め出した。こいつも家族の一員で私の無二の親友で俺はポリスマンになりたい、と言つてカンシヤク玉のピストルをパチパチと鳴らしていた。ヤコブの息子フアッサンは精悍なベドウィン系の面構えで、堅く結んだ口元は相当に意志の強そうな少年であつた。しきりに私の腕時計を気にし、勝手にずりしては眺め入り、「これを売ってくだらないかなあ」と何度もせがんで来た。

少年達は私にいいレストランを紹介しようと言ひ出した。それはオリブ林の中に、高い土壁をめぐらした店であつた。オリブの樹の下には白いクロスリカーの車が五、六脚並べられていたけれど客は一人もいなかった。フアッサン少年はヤコブ爺さんの末息子であつた。ラクダが

用は強引な仕事であつた。彼のヒゲはザラザラと痛く、と干草の様な匂いがした。絵具はホテルにおいてあるため、一時間後に再会の約束をし、色付けをした絵を持って再び彼を訪ねると、待ちかねていて、とばかり遠くから大声をあげて手を振つてた。これはわしの宝じや、額に入れて大切に家へかけておこう」と大げさな喜び方をした。おれにラクダに乗りたと言ふ。とまどう私をまたしても彼は強引に鞍の上へ押しあげてしまった。ラクダが後足で立ち上る瞬間、ガクリと大きく前へ倒れた。立ち上つてみると想像以上の高さであつた。

オレ、オレ……とヤコブ爺さんはすっかり気絶になつてラクダの手綱を取つた。

「わしは八人の子宝に恵まれて

しらえて、胃が悪いんだ、と青い顔をしてた。一番悪童らしいアフエフはコーヒ屋の息子で俺はポリスマンになりたい、と言つてカンシヤク玉のピストルをパチパチと鳴らしていた。ヤコブの息子フアッサンは精悍なベドウィン系の面構えで、堅く結んだ口元は相当に意志の強そうな少年であつた。しきりに私の腕時計を気にし、勝手にずりしては眺め入り、「これを売ってくだらないかなあ」と何度もせがんで来た。

少年達は私にいいレストランを紹介しようと言ひ出した。それはオリブ林の中に、高い土壁をめぐらした店であつた。オリブの樹の下には白いクロスリカーの車が五、六脚並べられていたけれど客は一人もいなかった。フアッサン少年はヤコブ爺さんの末息子であつた。ラクダが

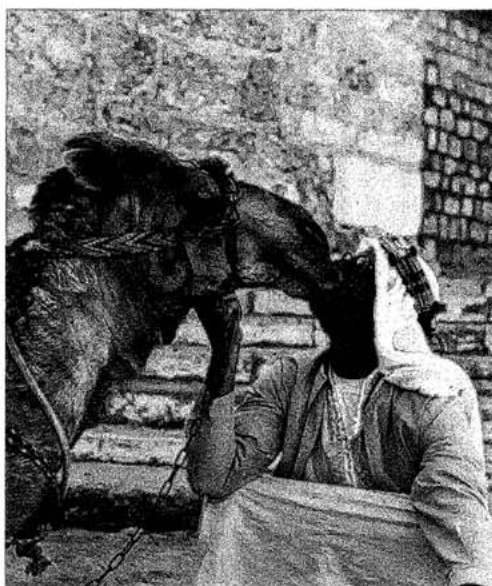
今だに心にわだかまがあるのである。

私にはフアッサンの軍服姿を頭の中に画いていた。それは頼もしく、凛々しいパレスチナ戦士の姿であつた。しかし、この少年達が成人する頃までには、今も時折エルサレムの街まで轟く砲声は絶えず欲しいと思ふ。ユダの荒野に砂塵をあげて走り去つた戦車の影も消えてしまわな

エルサレムにて

永井 郁

(画家、連載マンガ忍法猿楽流の作者)



今だに心にわだかまがあるのである。

今だに心にわだかまがあるのである。

盛大に開催

埼玉県内でも最大級の展示会である為、関係者の間でも注目を集めました。初日は天気も良く、さわやかな秋風が展示会場を吹きぬけ、商談も順調に進み大型建機コーナーからも三本締め音が景氣よく場内に響きわたっていました。

二日目は昼すぎ頃から雨が降りだし、お客さんの出足を心配しましたが、さすがイマギレさんの実力、雨の中でも多数のお客さんがつめかけて、商談も最高調に達しました。

イマギレさんでは、毎年行なわれる展示会も四回目となるなか弛みが出てきて、お客様

ばす来場者数でした。

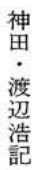
三笠のコナーにおきましては、前後進型パイプロンパックター、小型でも輾圧力の強いMT-50型オイルバス式ランナー等の他、首都圏に近いだけに騒音対策に関心が強く、夜間工事の防音効果抜群のM50型電動ランナーなどが注目を集め、説明を求めるお客さんも多く、自らも現場で契約をなさる方もおりました。

夕刻にかけて雨はますます強くなったが、なかには傘もささずに雨に打たれながら熱心に説明を聞く姿もみうけられました。

場内中央には大きなテントが設けられ、内は休憩所になっているが、時によっては商談コーナーに早がわり、最終日の九日は夜八時までお客さんがつめかけ「第四回建機ランドフェア」は盛況裡に幕を閉じました。

展示会に多大な御協力を賜った今給黎社長はじめ社員の方々に深くお礼申し上げるとともに今後益々の御発展を心からお祈り申し上げます。

神田・渡辺浩記



(株)鈴機商事展示会を開催

創立十周年を記念して

神奈川県に於ける有力なレンタル、及び販売店である(株)鈴機商事さん(本社藤沢市、営業所厚木市、相模原市)では創立十周年を記念して厚木営業所に於いて八月二十五日(出二十六日)の二日間にわたり展示会を開催し、多大な成果を上げた。

二十五日は移動クレイン、十六日は三トン未満ショベルの講習会も合わせて行ない多勢のお客様を集め、出品各メーカーのコーナーでは気合の入った三本締の音がなりひびき、ムードは絶好調に盛り上がった。

三笠の小間では、7D型ロー

ラーを始めランマー、コンバクター等、多数の製品がご契約をいただき、鈴機さんの営業マンも太鼓たたきに走りまわる程のもうから会場に出向き、契約促進の応援をしております。

(株)鈴機商事さんは年々思い切った作戦で売上げを好調に伸ばしているっており、レンタル機の購入に際してもユーザーさんのニーズに合わせ厳選して増やされており、アフターサービスに関しても決してユーザーさんに迷惑のからぬ様細心の配慮をしております。

MQ JAPAN TRIP 同行記

当社の米国代理店マルティク・イップ社の'83年度優秀セールスマンの一行二十名が、日本視察旅行に訪れ、当社の技術研究所及び館林工場を見学されました。同社はロス・アンゼルスに本拠を置き、十数年来三笠産業の米国総代理店として、全米にセールスネットを拡げ飛躍的に三笠製品の販売を伸ばして来ましたが、今回の訪問は、昨年一年間を通して行なわれた同社のセールスで優秀な販売成績を挙げた各地ネーチャーへの旅行なわれたものを含め、一週間の視察を含め、九月二日、成田空港に着いたばかりです。

の一行は旅の疲れも見せずに朝早くから宿舎のキヤピトル東急ホテルのロビーに集まり、なごやかな雰囲気をもし出しており、同行する我々とすぐに意気投合しました。

午前八時、チャーターしたサロンカーでホテルを出発。一行はほとんどの人が初めての日本訪問であり、車窓に見える東京の風景を見ながら、いろいろな細かい質問も飛び出し、見るもの聞くものに感慨を深くしていました。

ラッシュの東京を抜けて東北自動車道を通り、約一時間半で白岡にある技術研究所に到着。吉田専務の歓迎を受け、早速、所内でアメリカ向新製品の試運転をして頂き一線セールスマンの方から良い評価を得ました。

ひと通り見学を終えたあと、一行は次の目的地、館林工場へと向いました。

館林工場では、京谷社長、小林専務、長谷川専務の出迎えを受けました。会議室に於いて三笠製品及び工場の概要について説明を聞いた後、工場内部の見学に入り、機械、組立、検査、倉庫等のセクションをつぶさに見学、ランマーやローラーが整

然と並んで完成されていく様子を見て頂き、三笠製品に対する信頼と確信を更に深めていただくと思います。

ひと通り見学を終えたあと、車中にて昼食を取りながら日光へと向った。

東照宮や華嚴の滝に感嘆の声を上げ、皆で記念写真に収まったのち、宿舎の鬼怒川温泉へ向った。

ホテルで休息後、一同大浴場でひと風呂浴びてさっぱりしたところで、広間に集まり懇親の宴となった。開宴に先立ち京谷社長、マルテイクイツブ社副社



(館林工場にて)

長K・パトナム氏より、両社の日頃の努力をねぎらう挨拶があった。日本式旅館は初めてで少々とまどい気味のセールスマン達も盃の日本酒を飲むにつれ、すっかり日本式宴会にも打ちつけ、十分に楽しんで頂きました。

一行はその後鳥羽、京都を訪れ、九日に日本の思い出を胸に抱いて、無事アメリカへ帰国されました。此度び来日されたセールスマネージャーの方々の今後の益々の御活躍とマルティクイップ社の益々の発展を願ってやみません。

最後になりましたが、同社と三笠産業の間を取り持って下さっている伊藤忠商事(株)の担当部署の方々に、この紙面を借りて

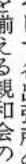


(日光東照宮にて)

親和会伊豆の旅

昨夜まで降り続いた秋の長雨が嘘のようにからりと晴れあがった九月二十二日。今日は私達が待ちかねた年に一度、本社と技研そして各出張所の人達が全員顔を揃える親和会の旅行です。

うな暑さ、それもそのはず、温泉の熱気でドーム型の温室内が暖められているとか。目にも鮮



やかな熱帯の花々でむせ返るよう。バナナ園とは道路を隔てたワニ園の池には小さいのから大きいので、いろいろな種類のワニが身動ききとつしないでじっとしていて、なんとなく不気味です。よく見ると口を半開きにしたままで割製かと思うほどです。ここから私達は三台のバスに分乗、東伊豆道路を南下、峰温泉でお昼を頂く。思い思いのテーブルに着きビールが注がれます。小憩の後バスは熱帯道路をひた走り、ほぼ定刻に今夜の宿熱海の富士屋ホテルに着、それぞれ部屋にくつろぐ。夜は午後六時半から宴会です。私もステージに上げられ、バンドの演奏で下手な歌を唱わせられました。活気溢れる宴会の後、場所を替えてマジックショーに見とれ楽しい旅の夜は更けてゆきました。

渡辺由美子 記

(舞台上で合唱する一行)

輸出二課 金子記

忍法猿樂流
NO. 73
三笠丸 永井郁

サイケ流
ドトロン
ジュウビデ
ゴザルカ
?

はすかし
ながら…
免れぬ労働
災害で
こげる!!

深い藩ノ
中ノ仕事モ
上カラ
ラクラク
操作!ヨ
グッドバイ

すん
だる

三笠ノ
新兵器!
前後進型
バイスロ
コシバタ!



向成記



(修善寺にて)

